東郷地区　むらづくり協議会

東郷地区は、比較的市街地に近く、有富川の源流域から下流域までの９集落　約２３０戸が点在しています。

高路神社

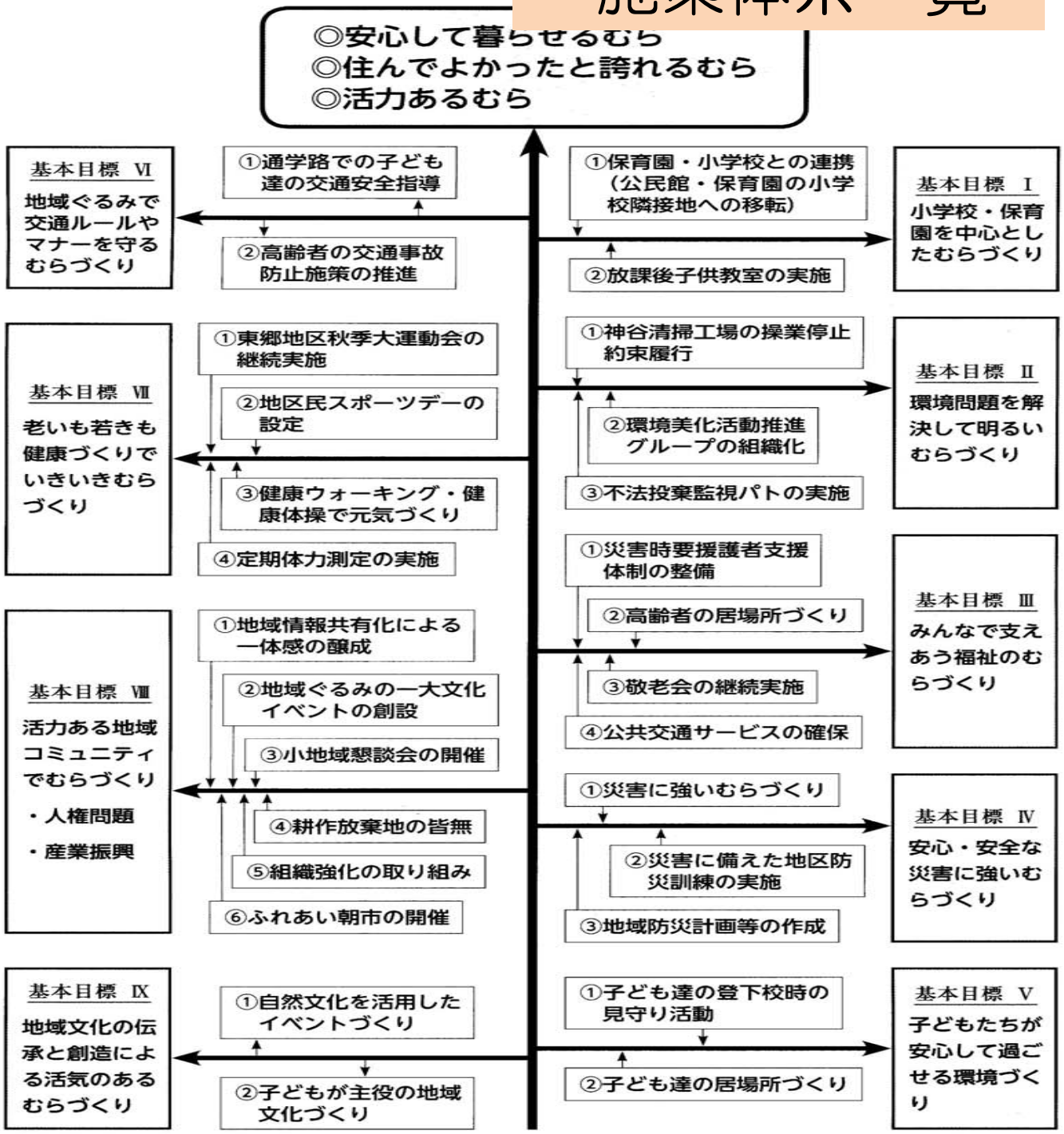
東郷地区むらづくり協議会は平成２１年３月１５日に設立しました。

施策体系一覧

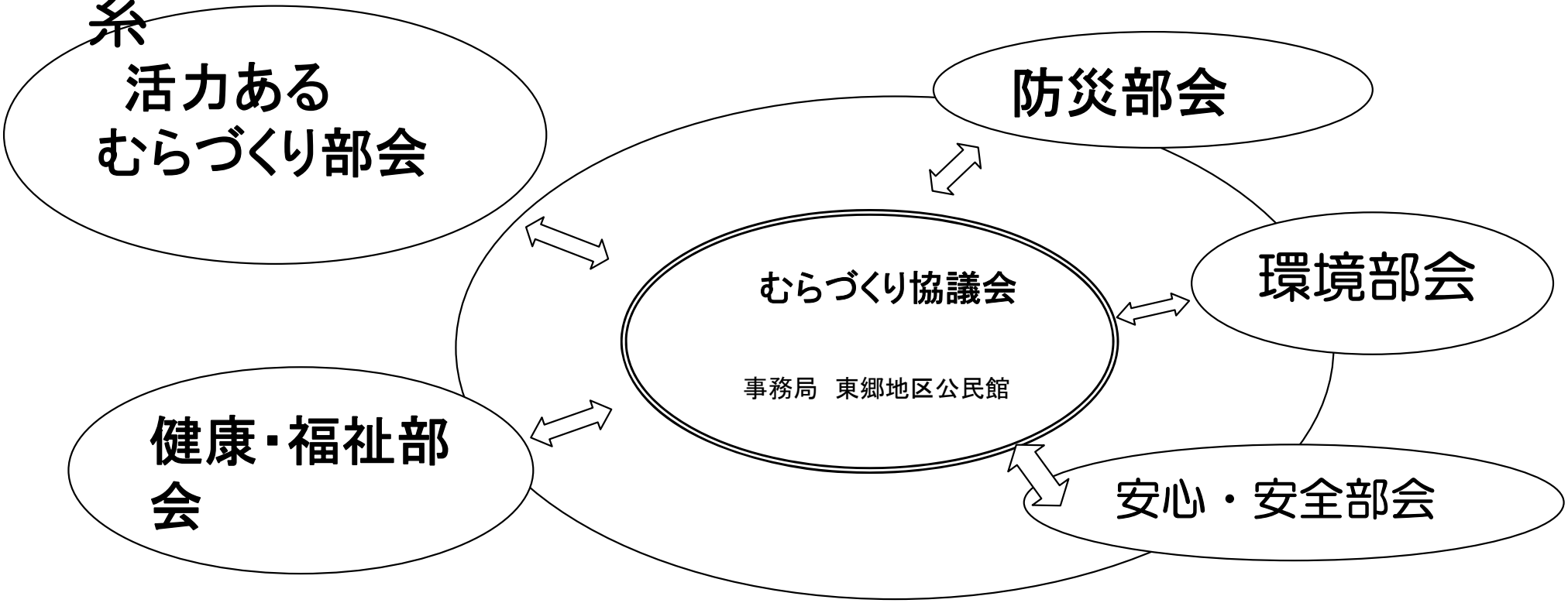
平成２２年３月３１日に私たちが目指す村の姿「安心して暮らせるむら」「住んで良かったと誇れるむら」「活力あるむら」を実現するために「東郷地区むらづくり計画」を作り、その中で目指すむらの姿を実現するために９つの基本目標を設定し方向軸を表にしたもの「施策体系一覧」を策定しました。

4　東郷地区むらづくり計画

（1）「東郷地区むらづくり計画」施策体系



東郷地区むらづくり協議会　施策体系

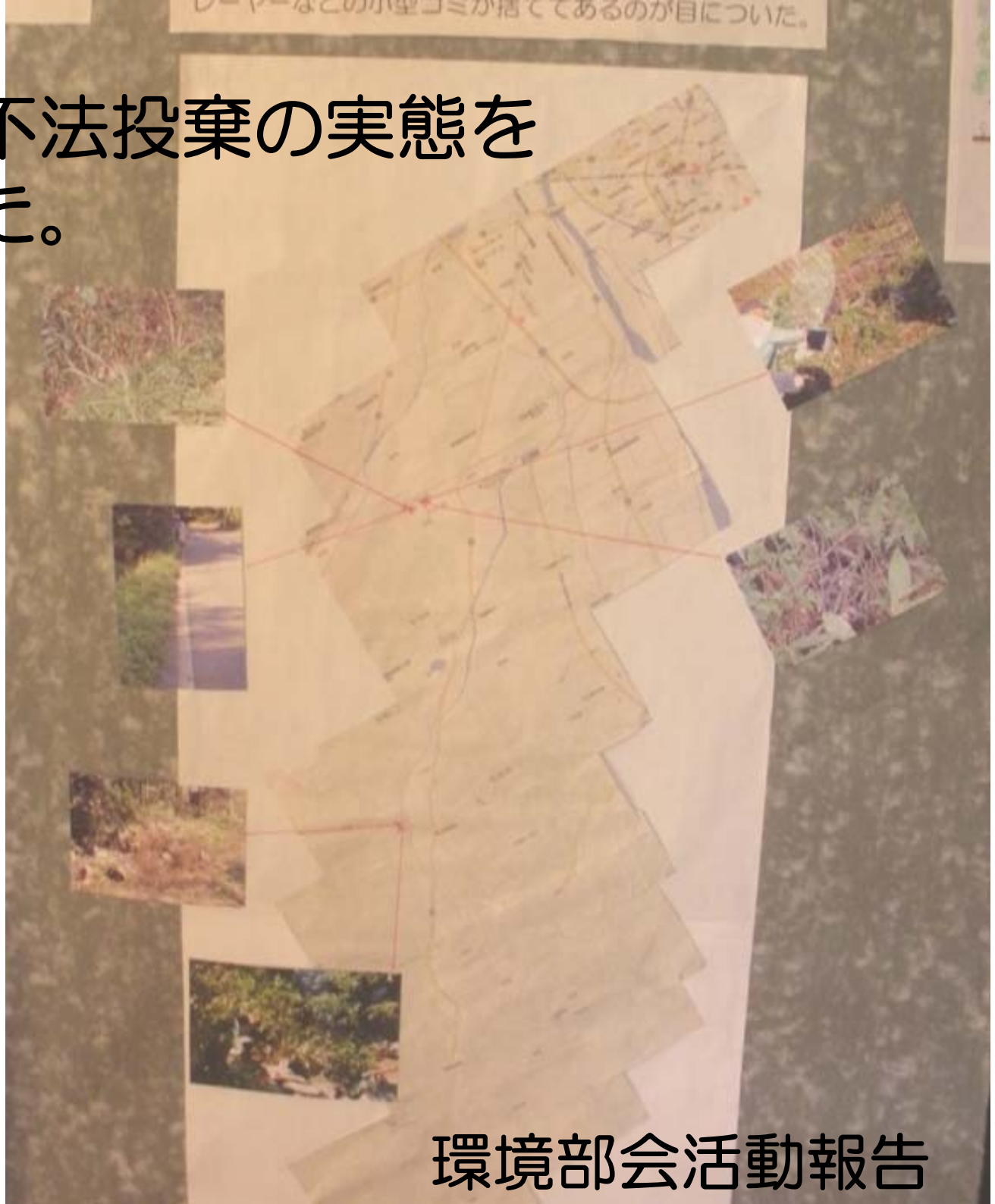


平成２３年度は策定された計画の施策体系一覧にのっとり

１　活力あるむらづくり部会
２　健康・福祉部会
３　安心・安全部会
４　環境部会
５　防災部会　という、５つの部会を立ち上げました。

東郷地区の不法投棄の実態を調査しました。

公民館まつりでは地区の皆様に活動の様子、目指すものをお示しすることが出来ました。こちらは環境部会の行った不法投棄を調べた時の地図です。



環境部会活動報告

防災部会では、東郷地区の部落ごとの防災マップを各戸に配布したり、「西田良平先生」に来ていただき防災講演会を開催することができました。

こうして各部会では意見を出し合い、これからのむらづくりに対しての方向性を出し合いました。

さて、東郷地区では永年にわたり、東郷地区公民館と協力、連携して　４月には「敬老会」を実施しました。新しくなった公民館で行われた敬老会には、車椅子での参加等、多くの方々にご参加いただきました。

夏まつり

７月には夏まつり

９月には地区、小学校、保育園との合同の秋季大運動会を実施し、稲刈りのシーズンにも関わらず、多くの方々にご参加いただきました。

１１月の「公民館まつり」も多彩な作品の数々を出展して頂きました。
むらづくり協議会の活動報告も展示しました。
こうした地区のこれらの事業には、地区住民だけでなく、東郷小学校、
とうごう保育園の全面的な協力があります。

東郷地区は、現在児童数の減少が問題になっています。
しかしながら少ないからこそできる地区の方々との触れ合いは他のどこの地区にも負けないと自負しています。

昨年の８月には子ども会、小学校PTA、東郷地区青少年育成協議会、むらづくり協議会、公民館が連携し、地区の方の協力を頂きながら地区を流れる「有富川」で「魚つかみ大会」を開催しました。

門松づくり

年末には地区の老人クラブの名人に教わりながら「門松づくり」をしました。

鳥追いの行事

また、新年には地区に伝わる「鳥追い神事」を老人クラブの方に教わり、一緒に七草がゆを食べたり、昔の遊びをしたりして、楽しい時を過ごしました。

芸能保存会では伝統文化の継承に力を入れ取組んでいらっしゃいます。東郷地区に伝わる手踊りを次の世代に伝えるために小学校での指導に力を入れておられます。

第1回東郷どろんこ祭り

今年の８月には、地区のたんぼで「第１回東郷どろんこ祭り」を行いました。

東郷地区に子どもたちや保護者、地区の方々の声援や笑い声がこだまし、本当に楽しい一日でした。

親子で栗ひろい

子ども達に楽しい思い出をということで、民生児童委員協議会は６月にホタル狩り、９月には栗拾いを企画、実施しました。

お弁当をお届けに来ました

こうして「子ども達は地区の宝」として、地区のそれぞれの団体が住民の方々と連携して子育てを応援しています。また、子どもたちも地区のお年寄りの方への配食サービスに添える手紙を書いたり、一緒に配ったりと **地区の一員** として協力してくれていると感じています。

保育園魚つかみ

　自然豊かな歴史ある東郷地区にもう一度たくさんの子ども達の声が響くようになってほしいと地区住民が願っています。

　この東郷地区の良さを知ってほしいと先日も鳥取市内の保育園１０園の年長児３００人が東郷地区に集まり有富川で魚のつかみ取りをして、その魚を焼き、新しくなった公民館で食べたり、遊んだりして、とうごう保育園と交流を行い楽しい１日を過ごしました。また、老人会の方々との交流も行いました

新しくなった東郷地区公民館

　児童数を増やすということは、どんなに願っても地区住民や保護者だけでは力の及ばないことがあります。是非とも行政の力をお願いしたいと思うのはこうした時です。
新しくなった公民館を地区の活動、地区コミュニティ、学習の拠点施設として利用させて頂いています。この場所を中心として、子ども達を増やしていく施策を鳥取市と地区が話し合い実行していけたらと願っています。

ご静聴ありがとうございました。

立見神社